

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 3 月 31 日

仕事の内容	普通学級介助員派遣事業			
担当部署・課長名	学校教育	課	学務	係 課長名 岩本 尚史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 4	児童・生徒事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	通常学級に在籍している介助を必要とする児童 →					介助を必要とする生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	介助を必要としている児童が安全に学校生活を送れる。 →					安全に学校生活を送れた生徒数			
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	介助員を採用し、当該通常学級に配置する。 →					介助員勤務日数			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	2	2	1		
	成果指標	②の数値	人	2	2	1		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方	介助が必要な児童生徒の安全を確保することが本事業の目的である。					
活動指標	③の数値	日	355	399	210			

3 経費	事業費		円	2,244,262	2,492,677	1,700,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,244,262	2,492,677	1,700,200	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	834,000	829,800	823,300	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	3,078,262	3,322,477	2,523,500		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	就学相談の結果、介助を必要とする児童生徒が通常学級に在籍することを契機に、事業を開始した。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 対象となる児童・生徒の入学、進学、卒業、及び支援内容による経費の増減がある	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	

仕 事 の 内 容	普通学級介助員派遣事業			
担当部署・課長名	学校教育	課	学務	係 課長名 岩本 尚史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	<table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()</td> </tr> </table>	取り組みは無い	取組手法
取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	特になし。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 今後は、けが等で臨時的に介助が必要となる児童生徒への一時的な対応も行っていきたい。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
	特になし。		
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は削減する。